

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 5 日(2024.11.5)

【公開番号】特開 2024-56038(P2024-56038A)
【公開日】令和 6 年 4 月 19 日(2024.4.19)
【年通号数】公開公報(特許)2024-073
【出願番号】特願 2024-34632(P2024-34632)
【国際特許分類】

B 6 0 N 2/56(2006.01)

10

A 4 7 C 7/74(2006.01)

B 6 0 N 2/68(2006.01)

B 6 0 H 1/34(2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/56

A 4 7 C 7/74 C

B 6 0 N 2/68

B 6 0 H 1/34 6 5 1 A

【手続補正書】

20

【提出日】令和 6 年 10 月 25 日(2024.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートクッションのフレームを構成するクッションフレームであって、左右方向において対向した状態で離間して配置された一对の対向フレームと、前記一对の対向フレームの前部同士を連結する第 1 連結フレームと、前記第 1 連結フレームに対し離間して配置され、前記一对の対向フレームを連結する第 2 連結フレームとを有するクッションフレームと

30

、前記一对の対向フレームの間に配置され、着座者からの荷重を受ける板状の支持部材と

、ダクトが接続される接続部を有する送風装置と、を備え、

前記支持部材は、前記ダクトが通る貫通孔を有し、

前記支持部材は、前記第 1 連結フレームと前記第 2 連結フレームに架設された複数の架設線材と、前記複数の架設線材と一体に形成された板状の樹脂部材とを有し、

前記樹脂部材の左右両端部は、前記架設線材から左右方向外側に向けて延びる板状の取付部であって、前記支持部材に他の部材を取り付けるための取付穴が形成された取付部を有し、

40

前記取付部は、前後の位置が、前記貫通孔と重なることを特徴とする乗物用シート。

【請求項 2】

前記支持部材は、上側から見て前記架設線材と交差するように配置された補強線材を備え、

前記補強線材の左右の端部は、左右の位置が、前記取付部と重なることを特徴とする請求項 1 に記載の乗物用シート。

【請求項 3】

前記架設線材と前記補強線材は、交差する部分が互いに接触しないように間隔をあけた状

50

態で配置され、

前記樹脂部材は、前記架設線材と前記補強線材を覆い、前記架設線材と前記補強線材の間に介在していることを特徴とする請求項 2 に記載の乗物用シート。

【請求項 4】

前記補強線材の左右の端部は、前記架設線材よりも左右方向外側に位置し、前後に延びていることを特徴とする請求項 2 または請求項 3 に記載の乗物用シート。

【請求項 5】

前記補強線材は、前記貫通孔と前後に並んで配置されていることを特徴とする請求項 2 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 6】

前記貫通孔は、左右に並んで 2 つ形成され、

前記複数の架設線材は、2 つの前記貫通孔の間を通るように配置された第 2 架設線材を含むことを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 7】

前記樹脂部材は、前記貫通孔の後ろに形成された格子状のリブを有することを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【請求項 8】

前記シートクッションと、シートバックと、ヘッドレストと、を備え、

前記シートクッションは、前記クッションフレームに、パッド材と、表皮材を被せることで構成され、

前記シートバックは、前記シートバックのフレームを構成するバックフレームに、パッド材と、表皮材を被せることで構成されていることを特徴とする請求項 1 から請求項 7 のいずれか 1 項に記載の乗物用シート。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

そこで、着座者からの荷重を送風装置にかかりにくくすることを目的とする。

また、送風装置の取付自由度を向上させることを目的とする。

また、シート内のスペースを有効に利用することを目的とする。

また、送風装置の動作に伴う振動や雑音を低減することを目的とする。

また、着座者に伝わる送風装置の動作音を低減することを目的とする。

また、送風装置の取付剛性を向上させることを目的とする。

また、シートをコンパクト化することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

乗物用シートは、対向した状態で離間して配置された一对の対向フレーム、および、前記一对の対向フレームを連結する第 1 連結フレームを有するフレーム部材と、前記一对の対向フレームの間に配置され、着座者からの荷重を受ける板状の支持部材と、送風装置と、を備え、前記送風装置は、前記支持部材に取り付けられ、一部が前記第 1 連結フレームの着座者側とは反対側に配置されている構成とすることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

10

20

30

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 4 】

着座者からの荷重を送風装置にかかりにくくすることができる。

10

20

30

40

50